

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.112をお届けいたします。

YouTube



FMD OWNER'S CLUB



2月のTOPICS

■ FMD低値は将来の脳卒中発症リスクとなる

今回のFMDニュースは、血管内皮障害と脳卒中の関係について書かれた論文をご紹介します。
3月は、下記の2学会にて機器展示を行います。多くの先生方のご来臨を心よりお待ちしております。

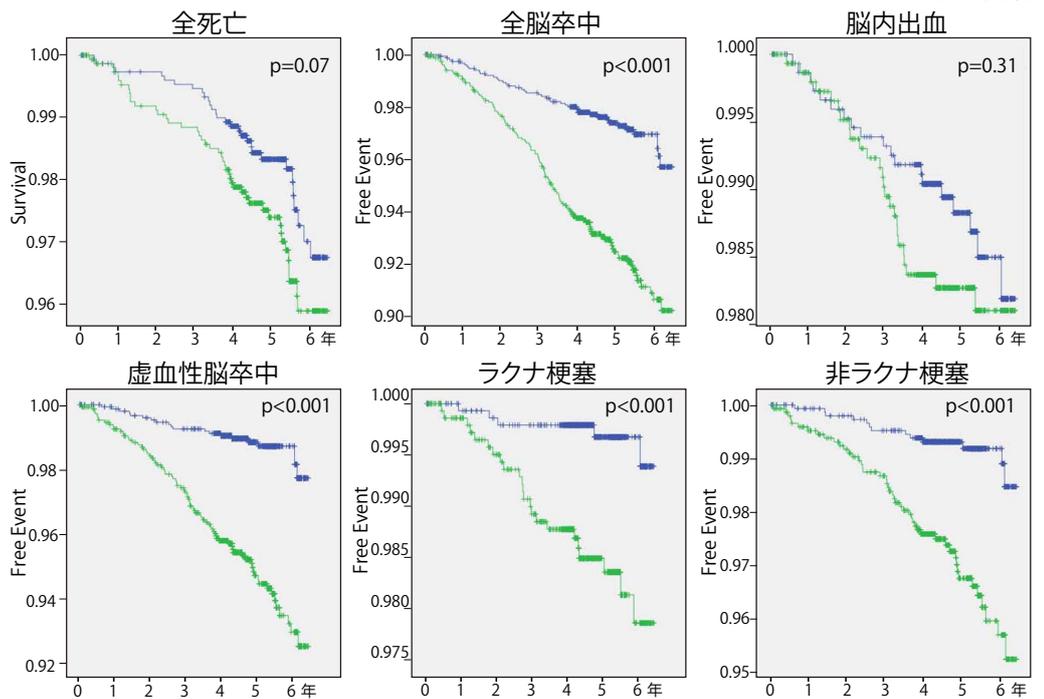
脳卒中は近年の医療の進歩を以てしても相変わらず発症する生命予後に関わる疾患です。また、脳卒中は高血圧、糖尿病などのリスク因子をコントロールしても、発症率は依然高いままです。今回は、一般日本人における血管内皮機能と脳卒中発症との関連を調査した研究をご紹介します。

【研究方法】

東北メディカル・メガバンク地域住民コホート研究のコホートデータに基づき合計2,952名の被験者について約3年間のベースライン研究を行い、その後、脳卒中発症についての追跡研究が行われました。なお血管拡張薬服用や心血管疾患保有者は研究から除外されました。

【結果】

右図は、FMD5.0%をカットオフ値とし、全死因死亡率と脳卒中非発症率を表したKaplan-Meier 曲線です。脳卒中、虚血性脳卒中、ラクナ梗塞、非ラクナ梗塞は、FMD高値群に比べ低値群の方が、有意に発症率が高かったという結果でした。



Int J Cardiol Cardiovasc Risk Prev.2023 Sep 21;19:200216.

【結論】

FMD < 5.0%は、脳卒中発症リスクと強く関連していることが示唆されました。FMD値の減少は収縮期血圧の上昇、BMIの増加、脂質異常症、糖尿病などの脳卒中のリスク因子と関連していることから、生活習慣改善を含めリスク因子のコントロールが重要です。

今回の検討によりFMDが将来の脳卒中リスクを特定するツールとして使用できることが示唆されました。

■ 学会展示会等のお知らせ

展示会 第50回日本脳卒中学会学術集会

会期：3月6日(木)～8日(土)

会場：大阪国際会議場 3階 イベントホール

展示会 第89回日本循環器学会学術集会

会期：3月28日(金)～30日(日)

会場：パシフィコ横浜 展示ホール